

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地：386-0001 長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和5年11月2日から令和6年2月21日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B2020073 B2020065	

2 福祉サービス事業者情報（ R5年12月現在）

事業所名： （施設名）箕輪町立長田保育園	種別：保育所
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 （管理者氏名） 園長 佐々木 洋子	定員（利用人数）： 90名（42名）
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設（指定）年月日： 昭和58年 3月 31日
所在地：〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 2134-268	
電話番号：0265-79-8764	FAX番号：0265-79-8764
ホームページアドレス：www.town.minowa.lg.jp	
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員 3名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長 1名 保育士 10名
	幼稚園教諭資格1名 給食調理師 2名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	乳児室 1室 ・ブランコ2人用・雲梯・滑り台・ジャングルジム・シーソー・鉄棒・登り棒・土管トンネル・ロッキンパーピー・太鼓橋・砂場・プール
	ほふく室 1室
	保育室 4室
	調理室 1室
	事務室 1室
	遊戯室 1室
トイレ 3室	

3 理念・基本方針

箕輪町の保育理念 ・子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。
箕輪町の保育指針 ・養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。 ・保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。
長田保育園の保育目標 1, 思いっきり遊ぼう 2, 自分を好きになろう

3, 周りの人を大切にしよう

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

箕輪町の長田地区は山際にはありますが、道路が整備されていて開放的で明るく住みやすさを感じる地域です。町のホームページを開いて見ても、高齢者から若者、学生、子育て世代、子どもと幅広い世代にやさしい町という印象を受けます。町では「みんなで作る未来につながる暮らしやすい箕輪町」を基本構想とした第5次振興計画に基づいてまちづくりを進める中で人口減少への挑戦として「箕輪チャレンジ」に取り組んでいます。「箕輪町子ども・子育て支援計画」（令和2年から令和6年）が策定され、その中でも「安心して出産し、子育てしやすい環境を整えることで子どもを産む人の希望が叶うまちづくり」を進めています。本町においても核家族化や地域とのつながりの希薄化などにより、子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が親として子育てに喜びや生きがいを感じ、また、すべての子どもが安心安全な環境で心身ともに健やかにたくましく成長できるよう、本事業計画に基づき子育て支援に取り組んでいるということで、子育て世代には住みやすい町になっていると感じます。

【長田保育園】

長田保育園は昭和58年に開園しました。箕輪町の西部に位置し、近くに長田自然公園があります。四季を通じて自然が豊かで、春から秋にかけての園周辺の散歩や裏山への散歩を通じて草花や虫、木々の変化を感じながら五感を使って遊び、挑戦し、発見、感動を味わいながら過ごしています。

自然の中で思い切り遊び、園内では運動遊び、絵本、食育を保育に取り入れて心も体も丈夫でたくましい子の育成を目指しています。

少子化が進んでおり、定員は90名ですが入所園児は42名と小規模な保育園です。しかし、長時間保育、未満児保育、障がい児保育、子育て相談を行っています。また、園庭は休日に地域に開放されていて、いつもみんなに頼りにされる身近な保育園になっています。

- 1, 運動遊び
- 2, 食育活動
- 3, 読書の活動
- 4, いきいき保育創出事業「やまほいく」

- ・自然の中に溶け込んだ保育
- ・散歩、探検、アスレチック、虫取り、木の葉・木の実拾い等楽しむ

地域との交流や未就園児への園開放を実施するとともに、保小連絡会を随時開催し連携しています。保護者との連携も密に行われており、個別懇談、保育参加、育児相談等を行い子育てのパートナーとして保護者を支援しています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成30年度）
---------------	-------------

6 評価結果総評

◇特に良いと思う点

①信州やまほいく「信州型自然保育」の認定を受けて、子どもが主体的に活動できる

環境を整備しています。保育園は自然に囲まれており、園周辺の散歩や長田自然公園でのアスレチックなどで自然と触れあい遊び、自然保育を取り入れながら、主体的に遊び込めるようにし、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しています。保護者からも信頼され高く評価されています。

②箕輪町が主体として行っている「みのわっこチャレンジ」事業を基に「何でも挑戦する気持ちを持とう」というコンセプトで、子ども達のやりたいという気持ちを見極めながら、

1 自然の中で元気に遊ぼう

・木育体験、花壇で花を育てる、食育活動も含めて夏野菜の栽培を行っています。

2 体を動かそう

・バランスボール ・サッカー教室 ・朝の体操 ・運動遊びなど、戸外の遊びだけでは育ちづらい体幹バランスやルールあるボール遊びの楽しさ、上半身の動きや筋力をつける遊びなどを行っています。

3 表現力を高めよう

・リトミックあそび ・絵本読み聞かせボランティアなどで、表現力や心の豊かさを育てています。

町の事業と連携した活動が特に良い点だと評価できます。

③SNSの有効活用をしています。

・その日の保育活動を写真付きで配信することで、保護者は日々子ども達が園でどのように生活しているか、どんな遊びをしてくるか

かなど身近に感じることができます。送迎の時に対面で話をすることと同様に、保育園に対する大きな信頼に繋がっています。

・保護者連絡、園だより、献立表などを SNS で配信することで確実に保護者に伝わり、エコにも繋がっています。

④子どもの人数が少ないため、縦割り保育や合同保育を行いやすく、自然な異年齢の交流が十分にできる環境になっています。兄弟の数が少なくなっている昨今、小さい子は大きい子の姿に憧れて、やってみようという意欲が育ち、大きな子は小さい子の手助けをしたりお世話をしたりすることで、優しい気持ちを育てることができます。また、職員間で連携が取りやすく、他のクラスの子どものことも把握することや、送迎の時にどの保護者とも親しく話をすることができ、信頼関係に繋がっています。支援を必要とする子への支援方法も、担当保育士ばかりではなく、職員みんなで考える機会を作り、それが保育の向上にも繋がって、一人ひとりに合った保育が行われています。少人数だからこそできることを全職員で工夫して進めている点は長所として評価できます。

◇特に改善する必要があると思う点

①小規模な保育園であることから「保育士の配置に余裕が無く、支援が必要な子に対して加配が配置できないため丁寧な支援ができない時がある」とのことです。しかし、保護者アンケートでは、障がいのある子の保護者が「愛情をかけて丁寧に対応してもらい、子どもとも信頼関係が築けているので、心から感謝しています」とあり、同様の意見が複数ありました。全職員で子どもを理解し、同じ方向で保育を進めることで、担当保育士にとっても、支援の必要な子にとっても、より良い保育が

進められている状況があります。専門的な研修会に参加したり、専門機関と連携したりすることで、より専門的な指導が期待できます。今後も保育士の配置を要望したり、支援を工夫したりしていく努力も必要になります。園長や主任、担当保育士、全職員でより一層連携して、専門的な資質を高め、保育を進めていくことを期待します。

②子どもの生活の場の保育園として、子どもが心地よく過ごすための環境整備が必要になります。保護者のアンケートでは、下駄箱の配置の仕方や門扉の腐食、砂場の屋根の老朽化などの指摘があります。また「外部からの侵入に対する安全な対策がとられていますか」については前回と同様にセキュリティーの強化を望む要望が多くありました。子どもにとって危険な箇所はもちろんですが、中長期の検討を踏まえて段階的に整備し改善することが望まれます。

③保護者への情報発信は SNS を利用して有効かつ丁寧に行っていますが、利用者アンケートでは、定期的にアンケートを実施して欲しいという要望がありました。保護者の保育サービスに対する関心は高いです。要望や意見を集約することも大切ですが、情報の発信等により検討していること、改善が行われていることを積極的に公表し、開かれた保育園としてコミュニケーションの充実を図ることを期待します。

④箕輪町の公立保育園は 7 園ですが、土曜日保育、保育標準時間のあり方、保護者参加の行事のあり方など保育事業について町と連携し、保護者視点で毎年見直していきましょう。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添 1）
- ・ 内容評価項目（別添 2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添 3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）